

経営者向けセミナー企画案

若手が育たない会社で、何が起きているのか

— 技術系企業で「教えても定着しない」背景を、関わり方から読み解く —

【概要】

技術系企業では、
若手が育たない、教えても定着しない、結局は管理職や社長に仕事に戻る。
そんな悩みがよく聞かれます。
その背景には、本人の意欲だけでなく、

技術者の

「理屈で納得しないと動きにくい」

「本来、考えることが好き」

「正解は1つと捉えやすい」

といった思考傾向と、上司・経営者の関わり方が影響していることがあります。

本セミナーでは、技術系企業で起きやすい人材育成・組織課題を整理し、
「教える」から「考えさせる」への関わり方の転換を通じて、
社員が「教えられる側」から「自ら考えて動く側」へ変わるためのヒントをお伝えします。

【主な内容】

- ・ 若手が育たないとき、何が起きているのか
- ・ 教えても定着しない背景
- ・ 技術者が動きやすい関わり方
- ・ 社長や上司が先に答えを出すことで起きること
- ・ 現場で小さく試せる実践の視点

【講師】 海野 幸浩（ThinkDoor代表）

電子デバイス設計者としての開発経験を経て、ロボット事業では設計部長・開発部長として
100人規模の組織を統括。

技術組織の中で、正解を出す立場から、部下に任せて動かす難しさを実感。
現在は研修講師として、管理職研修・キャリア研修・スキル研修に登壇し、昨年度は延べ
1,148人に講義しています。

技術者経験、管理職経験、講師経験の3つを踏まえ、技術系企業で**人が育つ関わり方と組織づくり**を支援しています。

【実施イメージ】

- ・対象：経営者・経営幹部・管理職
- ・時間：60～90分
- ・形式：講演・勉強会・合同セミナー

▼支援者紹介 技術系管理職育成・組織づくり講師

研修講師／コーチ／国家資格キャリアコンサルタント

ThinkDoor代表 海野幸浩